

長寿社会のまちづくり

～多様なステークホルダーによる共創～

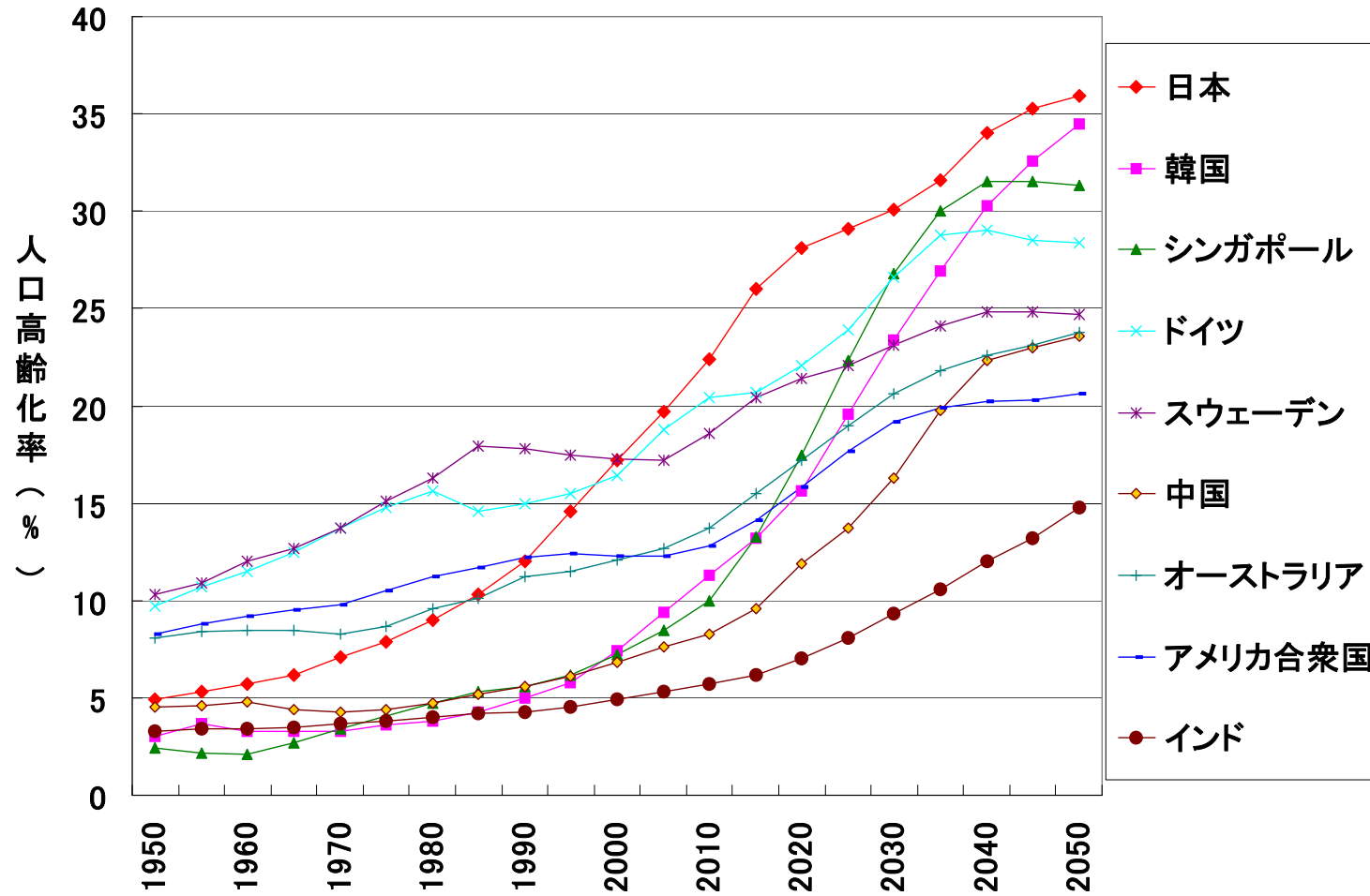
秋山 弘子

東京大学高齢社会総合研究機構

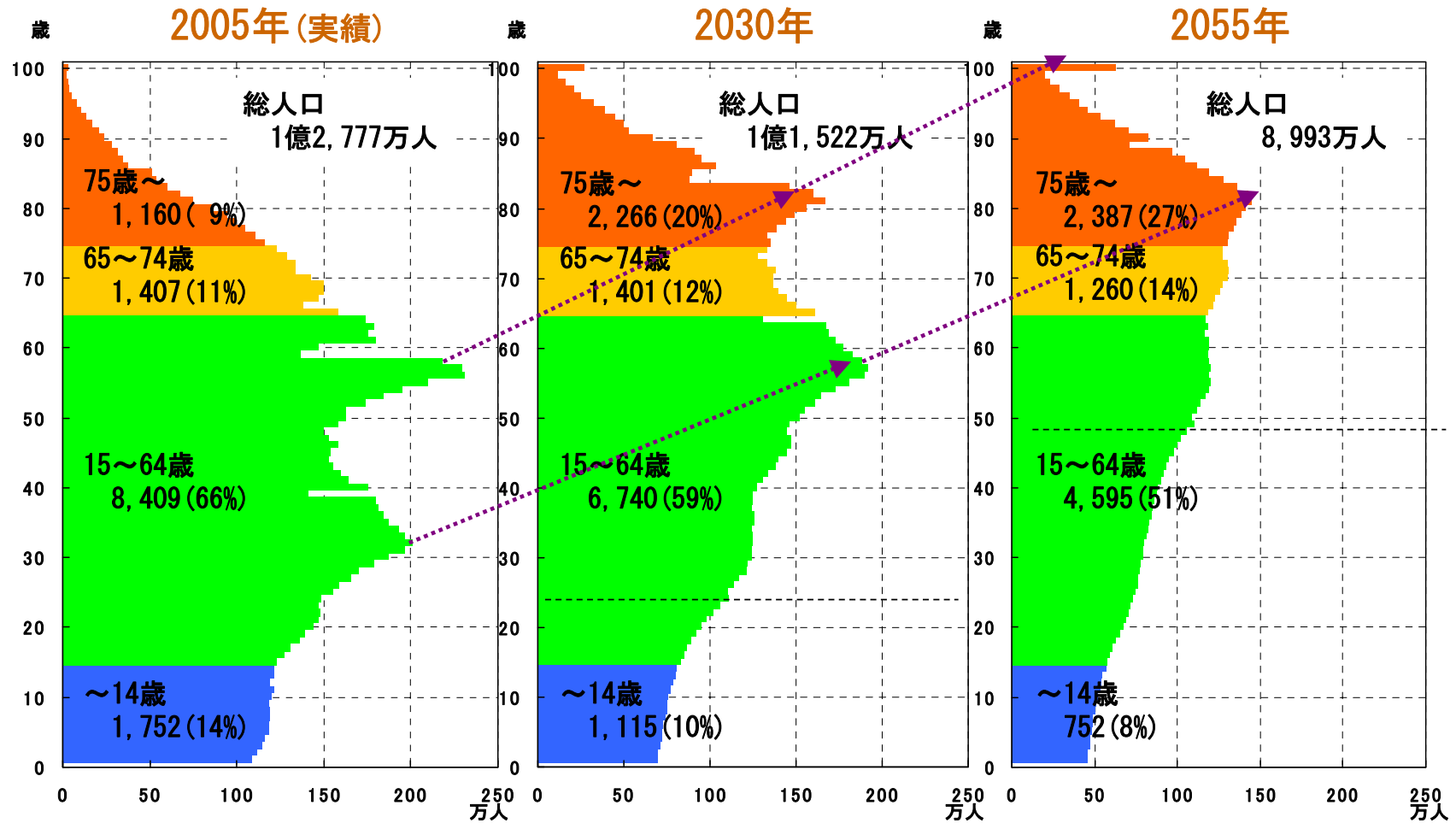
第6回「環境未来都市」構想推進国際フォーラム

2016年8月30日

地球まるごと高齢化



高齢者人口の高齢化



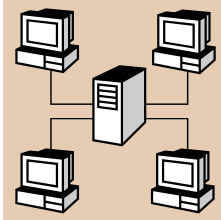
注: 2005年は国勢調査結果。総人口には年齢不詳人口を含むため、年齢階級別人口の合計と一致しない。

長寿社会の課題と可能性

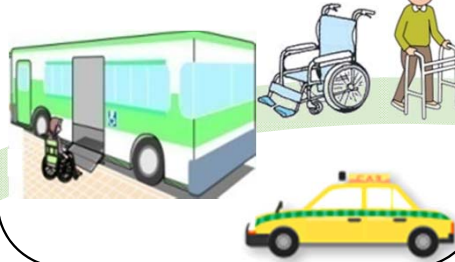
- 個人の長寿化 → 人生90年の設計
 - 多様な人生設計が可能
 - 多毛作人生も可能
 - 自分らしく死ぬ
- 人口の高齢化 → 社会のインフラ(ハード & ソフト)の作り直し

長寿社会のまちづくり : コミュニティで社会実験

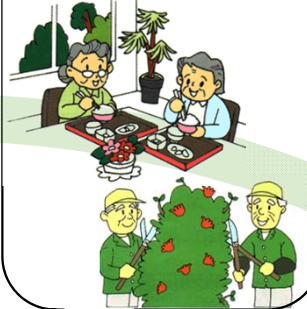
情報ネットワーク



個々の状況に応じた
移動手段



高齢者を
地域の支え手に



ニーズに即した
多様な住居



評価

Quality of
Life
(QOL)



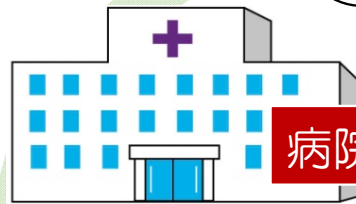
Quality of
Community
(QOC)



コスト



病院から在宅へ



病院



地域

健康情報



遠隔医療



患者学

プライマリケア体制



かかりつけ医

薬局



24時間対応の訪問看護・介護



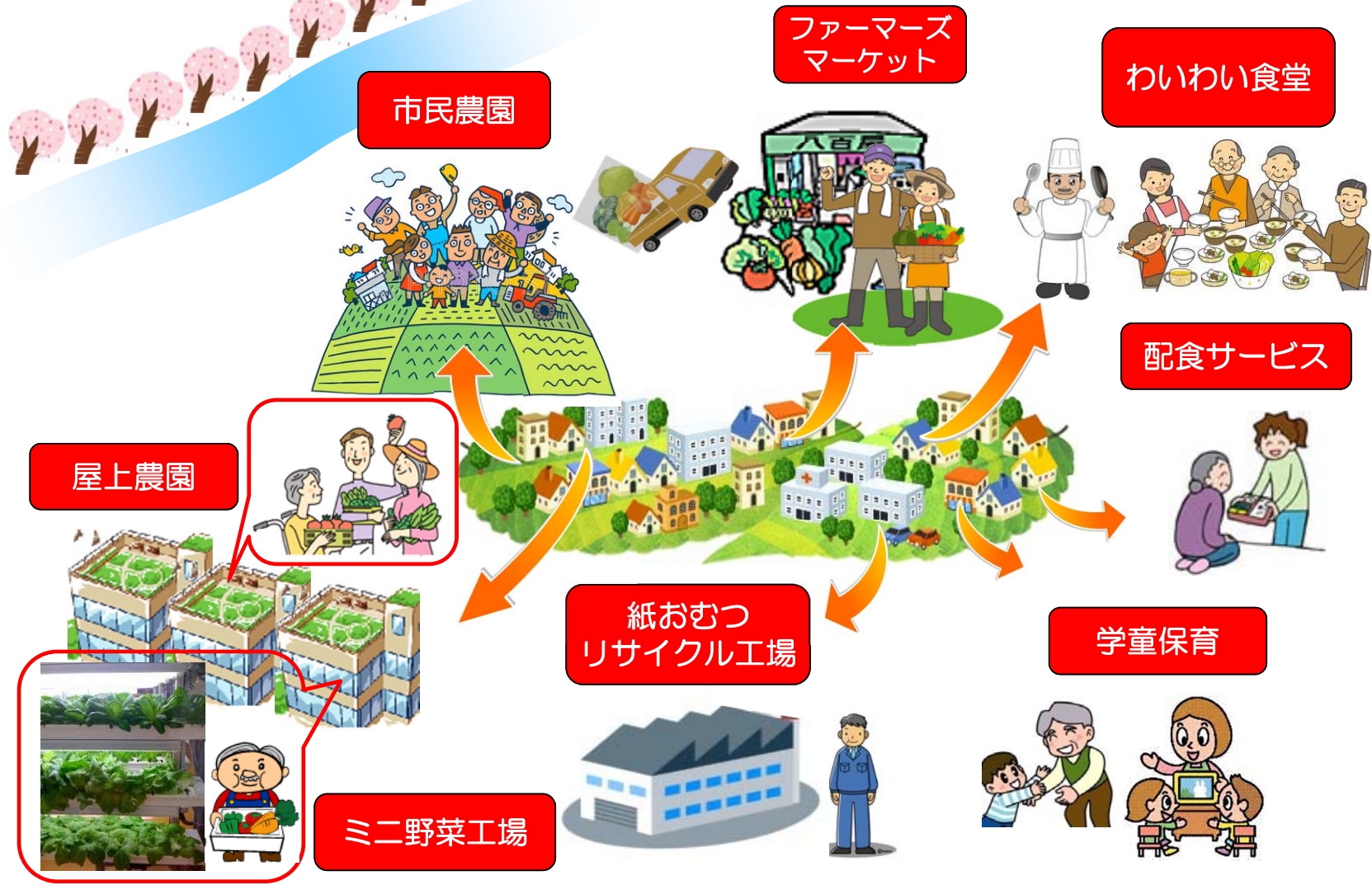
まちづくりの主要な領域

- 就労・社会参加・生きがい
- 生涯学習
- 人の繋がり
- 虚弱予防
- 包括的医療・介護システム
- 住宅
- 移動手段
- 情報システム

2つのコミュニティで社会実験



セカンドライフの就労



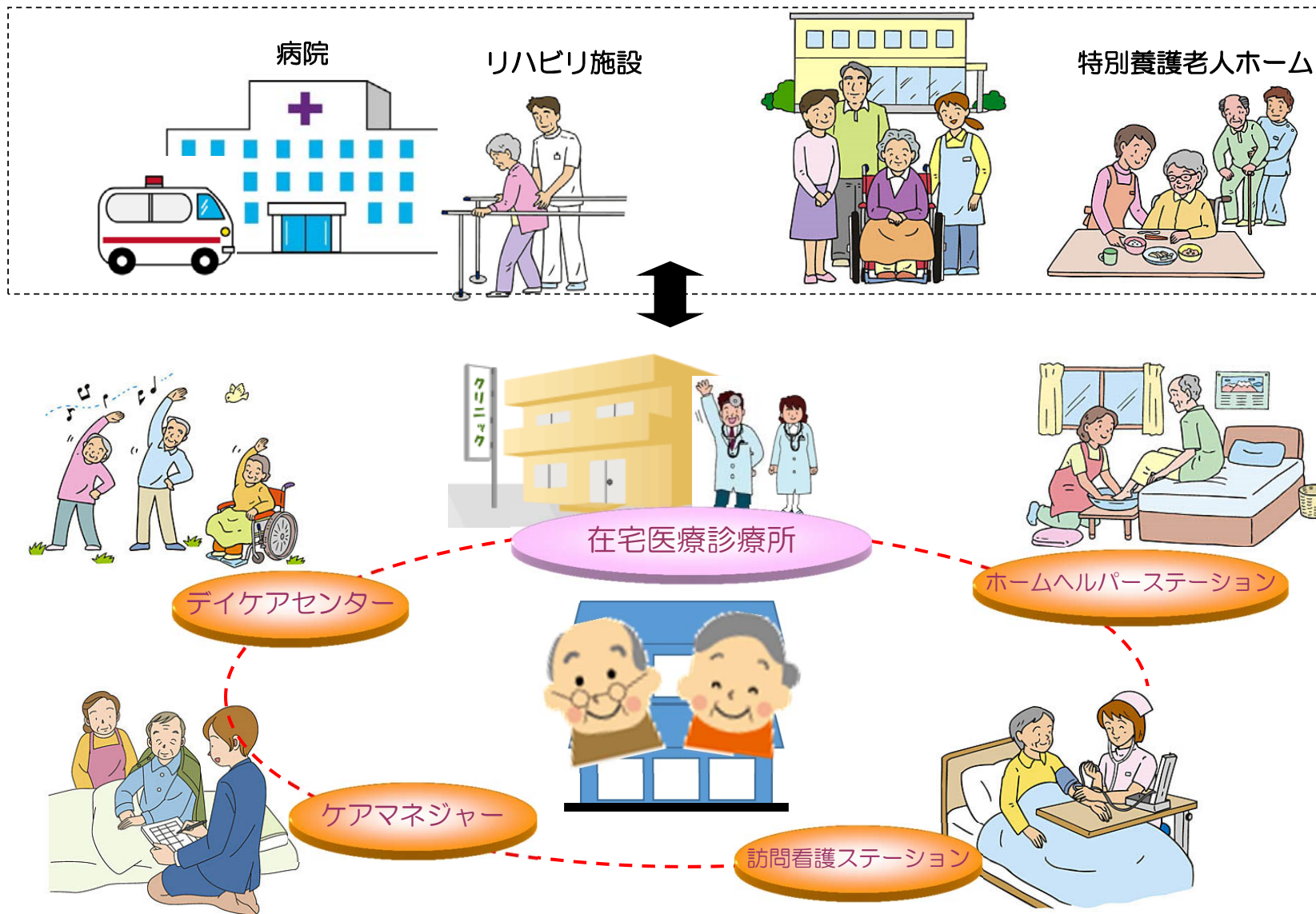
活躍するシニア



フレイル(虚弱)予防

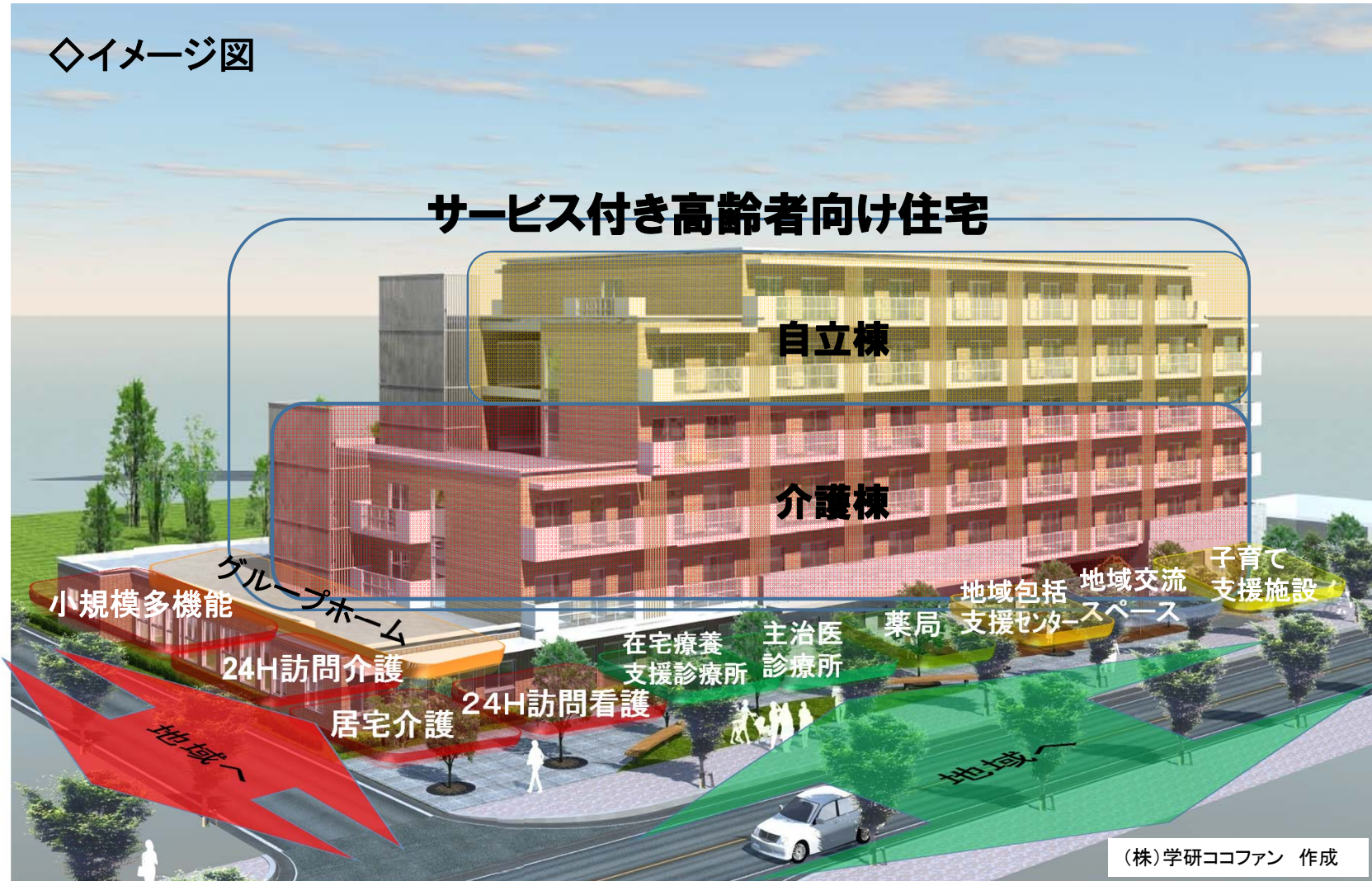


地域包括ケアシステム

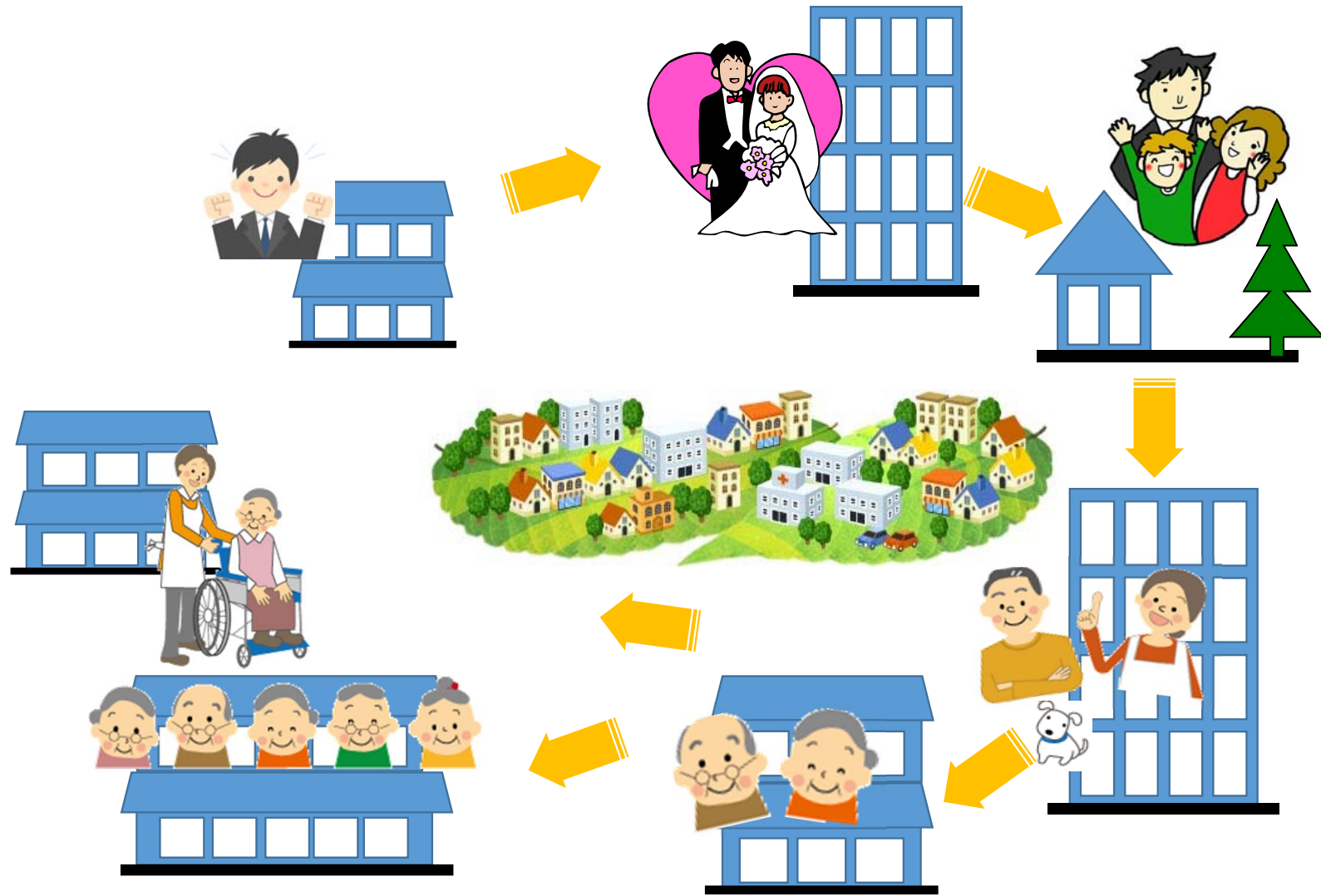


柏プロジェクトーUR柏豊四季台団地内 サービス付き高齢者向け住宅

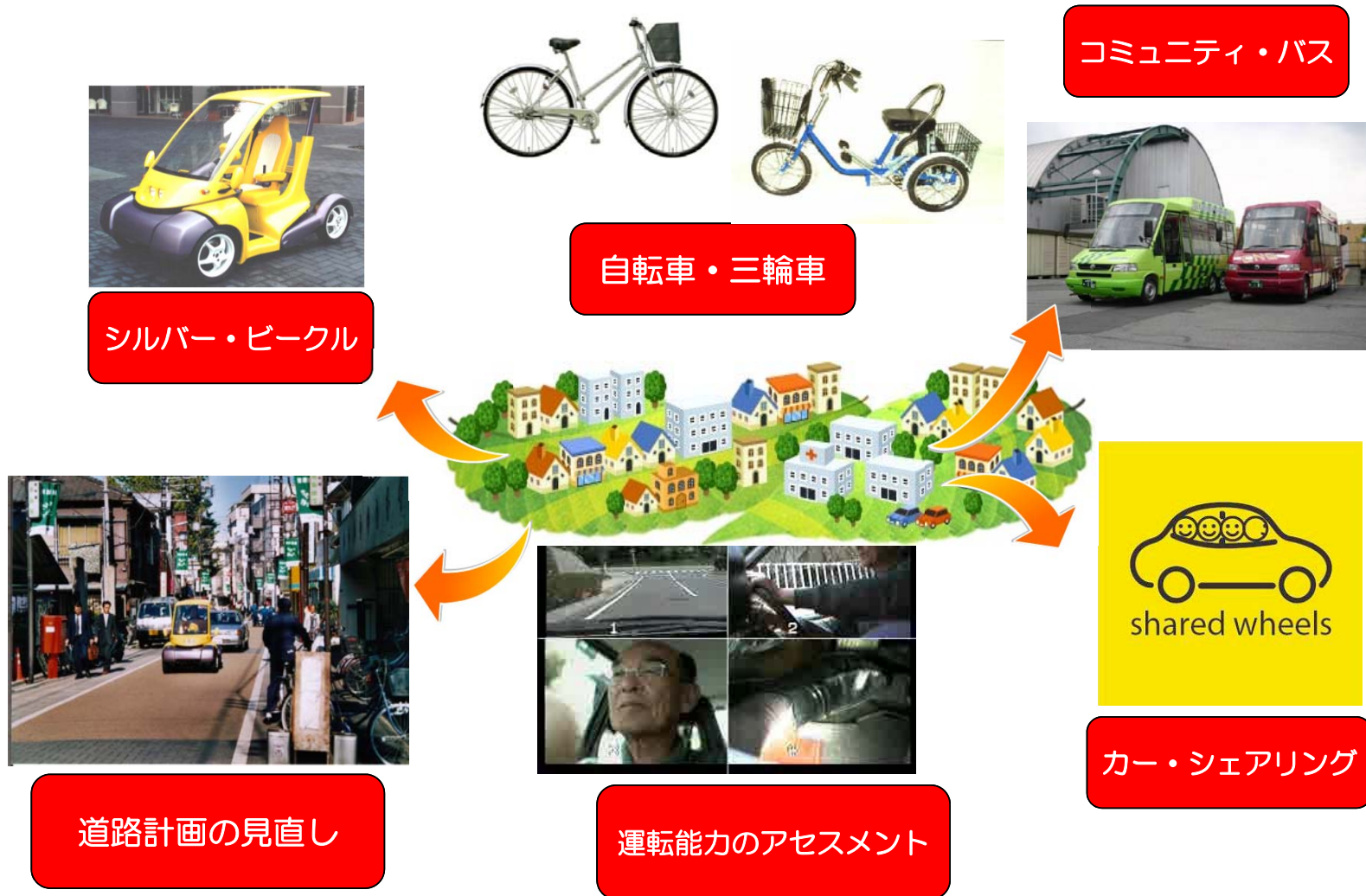
◇イメージ図



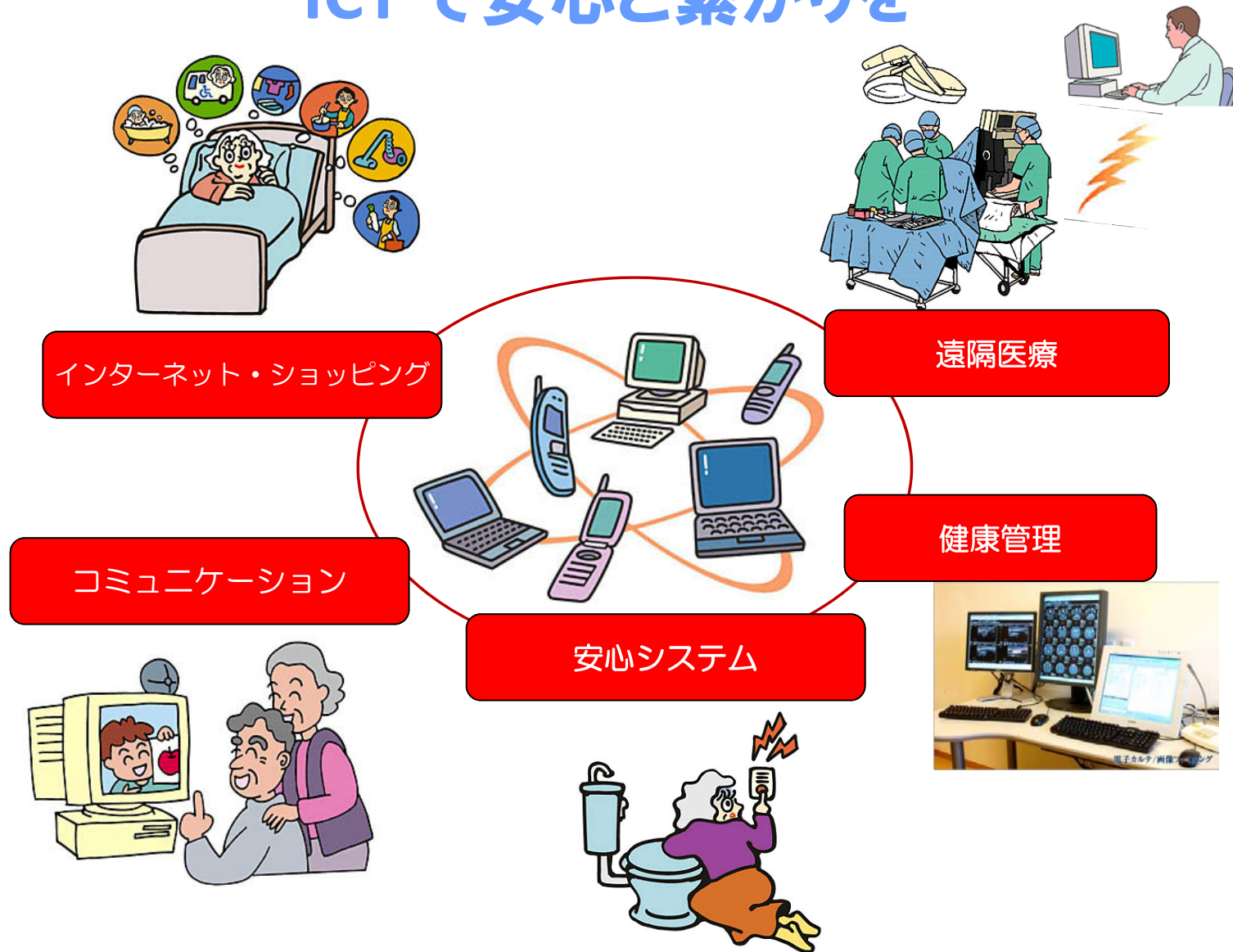
地域における循環型住宅



高齢者にもやさしい移動手段



ICTで安心と繋がりを



Multi-stakeholders の協働



Living Lab

Living Lab = 住民 (生活者・当事者) と「共創」するイノベーションの総体

